

あかるいまち21

No.1146号 2018年6月14日 組織部 TEL082-532-1264

	6月累計	2018年度
組合員ふやし	26人	217人
出資金ふやし	337万円	1524万円
純増	▲38万円	10万円

南区東支部「健康寿命を延ばすサロン」ですこしお体感



6月9日(土)、南区東支部にて健康寿命を延ばすサロンが開催され、15名の方が参加をされました。今回のテーマは「減塩料理」でした。元料理人の組合員さんに教えていただきながら、牛乳を使った筑前煮や絹さやの卵とじを作りました。開始前には滑舌チェックも行いました。



最後には、出来上がった料理を皆さんで美味しくいただきました。減塩料理ですので、中には味付けに物足りなさを感じている方もいましたが、日頃の減塩意識が自らの健康につながるよね、と皆さんで確認し合うことのできる時間となりました♪

けんこうチャレンジ2018 さらに拡散

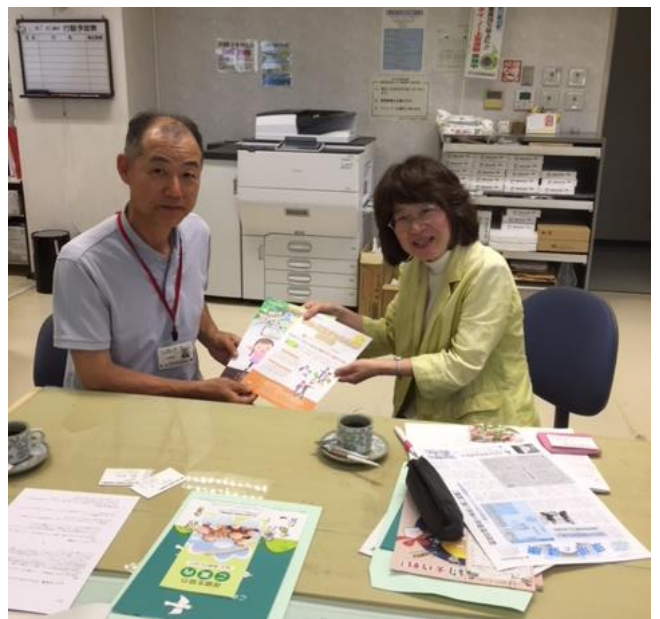
6月7日、県全体のけんこうチャレンジ実行委員会にも参加していただいている、県の健康福祉局の担当の方より紹介していただき、けんこうチャレンジ2018の普及のために、広島県環境保健協会を田中部長と藤井課長で訪ねました。

広島県環境保健協会は、広瀬北町に事務所を持っておられます。1957年に住民組織である県内市町村公衆衛生推進協議会が集って創設され、地域社会における公衆衛生や環境保全の向上、県民の健康づくりと住みよい環境づくりを使命に活動されてきたということです。

応対して下さったセンター長さんも、福島生協病院のことはよくご存知ということでしたが、とても近いところで、歴史も組織の目的も似通って活動していると感じました。センター長さんも同じ思いをもっていただいたようで、これからもお互いの取り組みについて情報交換していこうということになりました。

「けんこうチャレンジ2018」については、大変早く400部のパンフレットを預かってくださり、6月末と8月の集まりでの紹介・普及に加え、協会の職員の方にも広げていただけたということでした。

県生協連を主催にけんこうチャレンジを始めて4年目、さらに拡散しています。



協同組合がよりよい社会を築きます